

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	智歯抜歯後偶発症に対する臨床学的検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	大竹 寛紀
研究期間	2019年10月 ～ 2020年3月
対象者	2018年11月から2019年12月までの期間で当院歯科口腔外科にて下顎智歯抜歯を行い、アンケートを実施した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	抜歯後疼痛は抜歯後の代表的な不快症状であります。とりわけドライソケット(抜歯後何らかの理由により抜歯窩から血餅が脱離した状態)に至った場合には強い自発痛を生じます。ドライソケットでは抜歯窩に抗菌薬・副腎皮質ホルモン製剤含有軟膏(テラ・コートリル軟膏)を挿入すると比較的早期に自発痛が改善します。そこで本研究では、抜歯術時に予めテラ・コートリル軟膏を挿入することによる抜歯後疼痛の軽減やドライソケット予防効果に関して確認します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)、抜歯後アンケートから次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景因子(年齢、性別、既往歴など)、</li> <li>・臨床データ(画像検査結果、病理検査結果など)</li> <li>・転帰(ドライソケット発生、抜歯後感染等の有無など)</li> <li>・疼痛の状態</li> <li>・体温</li> <li>・開口量(お口の開く大きさ)</li> <li>・鎮痛剤内服回数</li> </ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。

	静岡県立総合病院 歯科口腔外科 大竹 寛紀 代表 054-247-6111
--	--